NPO 法人　浜松外国人子ども教育支援協会

TOMO2 NEWS

No.29
2023 年４月

事務局
〒430-0846　浜松市南区白羽町 2512
浜松市立砂丘小学校内
TEL：053-443-8527　/　FAX：053-443-8747
https://www.tomo2kodomo.com/

中学校放課後学習支援教室
「アイスプラネット」

「アイスプラネット短歌集」第２集を発行

助成：（公財）浜松国際交流協会

「放課後学習支援教室アイスプラネット（浜松国際交流協会助成金事業）」では、学習支援の他に短歌の指導も行いました。その成果物として短歌集を発行しました。

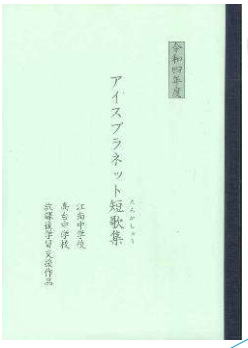
外国にルーツを持つ子ども達の歌集としては全国に類をみないユニークなものです。

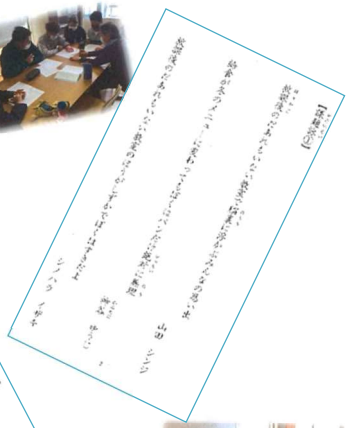
江南中学校と高台中学校の1～3年生の生徒 12 名と応援してくださる学校の先生方や支援者の詠んだ 60 首が掲載されています。

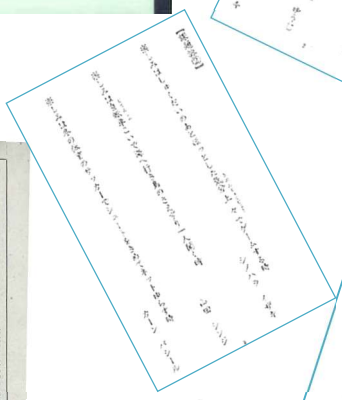
昨年度の第1集の時と比べて参加生徒数が増え、読み応えのあるものとなっています。当初 50 部刷りましたが、好評につき増刷して 60 部作り、生徒や学校へ贈りました。

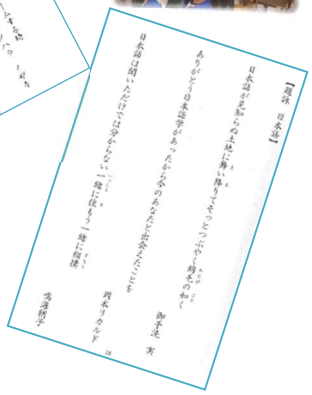
生徒達は活字化された自分の作品を見て、とても喜んでいました。

部活のこと、給食のことを題材に、生徒たちの個性豊かで感性が光る作品がたくさん載っています。事務局に貸出用があります。是非お手に取ってごらんください。









中国新聞　（第31種郵便物認可）

日本語磨く31音

浜松　外国にルーツの中学生が短歌

学習支援のNPO法人が冊子

外国人の子ども教育支援協会（TOMO2）が、市内の中学生十二人が詠んだ短歌を冊子にまとめた。プラジルや中国にルーツのある生徒たちが学校生活や放課後に感じたことを三十一音に仕上げた。

短歌は日本語のリズムに触れ、助詞を学ぶのに役立つ。TOMO2は、二年前から高台中学校（中区）で週一回、放課後に漢字を創作したり日本語でスピーチしたりと、表現力を磨く活動をしている。昨年九月から江南中学校（南区）でも始まった。

江南中では二年生二人が参加。野上ニコラスさんは「給食が冬のメニューに変わったに夏よりうれしい」と詠んだ。「おいしいから」と振り返った。カーン・ファティマさんは「放課後の日本語学び教室で楽しく学ぶやる気を高め」と詠んだ。「音の数を合わせてつなげるのが難しかった」と話した。

冊子は五十部作り、生徒や学校に贈った。短歌を指導した佐藤一央さんは「短歌を作ることが小さな達成感になる。さらに活字に残ることで自信につながればいい」と期待した。

江南中で生徒の通訳をする岡本リカルドさんは「放課後の学習が始まり生徒たちが前向きになった。大切な場になっている」と話す。

令和４年度　日本語・学習支援

委託：浜松市「日本語・学習支援業務委託（中・南エリア）」

令和4年度は、30 名の指導者が、小学校 23 校 111 名、中学校7校8名の児童・生徒の支援を行いました。また、江南教室※では、週2時間の日本語支援の授業を担当し、31名の支援を行いました。

佐鳴台小ｸﾞﾙｰﾌﾟ
① 佐鳴台小
② 富塚西小
③ 県居小
④ 泉小

白脇小ｸﾞﾙｰﾌﾟ
⑩ 白脇小
⑪ 双葉小
⑫ 追分小
⑬ 竜禅寺小

中学校ｸﾞﾙｰﾌﾟ
① 高台中
② 曳馬中
③ 北部中
④ 南部中
⑤ 江南中
⑥ 東陽中
⑦ 富塚中
※ 江南教室

萩丘小ｸﾞﾙｰﾌﾟ
⑤ 萩丘小
⑥ 城北小
⑦ 広沢小

南の星小ｸﾞﾙｰﾌﾟ
⑰ 南の星小
⑱ 相生小
⑲ 飯田小
⑳ 砂丘小
㉑ 河輪小
㉒ 曳馬小
㉓ 上島小

芳川小ｸﾞﾙｰﾌﾟ
⑧ 芳川小
⑨ 芳川北小

浅間小ｸﾞﾙｰﾌﾟ
⑭ 浅間小
⑮ 新津小
⑯ 可美小

※　江南教室とは･･･令和4年度から始まった中学生のためのセンター校。在籍校での学校生活に円滑に入れるよう、月曜日から木曜日はセンター校である江南中学で日本語や学習支援を受け、金曜日は在籍校で過ごす生活を 10 週間行う。TOMO2 は、週2時間の日本語支援を担当した。

3月全体ミーティング　研修会

「GIGAスクール構想の実現
―学校の情報化の目的と概略―」

コロナ禍により、学校教育におけるICT化は一気に加速しました。小中学校におけるICT環境整備とICTを活用した学習活動について、専門家の講義を受けました。学校の授業も従来の一斉授業からICTを活用したグループワークが増える見込みです。

4月全体ミーティング　研修会

「一人ひとりに合った授業づくりを目指して」

講師：寺澤昌子

前半は昨年度の児童生徒の特徴を分析した結果を報告し、後半は支援に工夫が必要な児童への活動・can-do目標をグループで考えるワークショップを行いました。

令和４年度　母語・継承語教室「まつっこ」　修了式　　委託：浜松市（母国語支援等業務委託）

浜松市内全域の市立小中学校に在籍する子供たちを対象に行っています。教室は現地校の雰囲気が漂い、伸び伸びと楽しく学べる環境です。ここでは、母語は勿論、母国の文化や地理、歴史の学習を通して、子供たちが自分のルーツに誇りを持ち、自分らしくたくましく生きていく人になれるよう支援しています。

母語を育てるためには家庭の協力も必要です。学習発表会や保護者会を開催したり、時には教室活動に参加してもらったりと、保護者が直接関われる機会を増やして、保護者とともに子供の母語を育む教室作りを心掛けています。

ポルトガル語教室

3月 18 日　123人（市民協働センター）

全体で行う発表会は3年ぶりで、多くの保護者が出席されました。ブラジル北部/南部地方の伝統的なダンスや「São Paulo, São Paulo」の曲と盆踊りをマッチさせたダンスを披露したり、浜松市歌をポルトガル語で合唱したりしました。練習を積み重ねてきた成果がでて、当日は見ごたえ、聴きごたえのある発表会となりました。

日本語が全く分からない同居の祖母とコミュニケーションをとるために、「まつっこ」に通い始めました。そこは、先生も生徒同士もポルトガル語で話すブラジルの学校のようで、息子は６年間とても楽しく勉強できました。今後もポルトガル語の勉強を続ける予定です。（まつっこ保護者：森田カロリネさん）

スペイン語教室

3月4日　10 人（南部協働センター）

低学年は文字カードで言葉作りを、高学年は朗読劇を保護者の前で発表しました。子供たちは練習の成果が発揮できて嬉しそうでした。

発表会の後には、保護者会を行いました。指導者から、家庭の会話が大切であること、子供に言葉の意味を教えることが必要であることなどを伝えました。

保護者からは、この一年間で子供のスペイン語が上達したとの声や来年度の開始はいつからかとの質問が出され、来年度の開始を待ちわびる様子が伺えました。

ベトナム語教室

3月11日　25人（三方原協働センター）

高学年は進行役をしたり、低学年の発表を手助けしたりと子供たちで作り上げた発表会となりました。

最後に、保護者から「子供たちに母国の文化を伝えていかなければいけないし、親子を繋ぐためにも母語を勉強してほしい。だから、この教室はとても有難く、感謝しています。」との言葉を頂き、まつっこ教室の意義を改めて感じました。

その他の活動

ＨＩＣＥ助成金事業

・ともにっこ（支援者　５名）　　・つくしっこ（支援者　5名）
・コレジオ　アルテルナチーバ（支援者　3名）

講師・通訳派遣

・カトリック教会（浜松・磐田）　講師　12 名
・ここみ広場　　通訳　2名　　・佐鳴台入野幼稚園　講師　3名
・大平台高校　講師　2名　　・森町学習支援　講師　1名

新人サポート研修会

・12 月13日　　講師：寺澤昌子
「困り感のある子どもたちにどう教えるか」
・3月14日　　講師：寺澤昌子
「はまっこテキスト　13・14課の教え方」

バザー・ご寄付のご報告と御礼

12 月 12 日の全体ミーティング後にバザーを開催しました。素敵な手作り品やたくさんの日用品のご出品、ありがとうございました。

（株）エムデザイン様よりご寄付をいただきました。母語支援に使用する「色えんぴつ　20 セット」を購入させて頂きました。ありがとうございました。

今 後 の 予 定

◆ **１学期支援**　４月 17 日（月）～７月７日（金）

◆ **はまっこクラブ**　砂丘小はまっこ教室
５月 15 日（月）、７月 11 日（火）、10 月 16 日（月）
12 月 12 日（火）、１月 15 日（月）、３月 12 日（火）

◆ **ＮＰＯ総会＆講演会**
５月 13 日（土）　10:00～12:00　あいホール　3Ｆ会議室
講演会：「浜松市地域日本語教育体制づくり
～５年後の浜松市を見据えて～」
講　師：内山　夕輝　氏
浜松市外国人学習支援センター　主幹
地域日本語教育総括コーディネーター

◆ **母語・継承語教室「まつっこ」開講式**
・ポルトガル語　６月３日（土）　市民協働センター
・ベトナム語　　６月３日（土）　三方原協働センター
・スペイン語　　６月 10 日（土）　南部協働センター

◆ **全体ミーティング**
７月 10 日（月）　13:30～15:30　あいホール　3Ｆ会議室
12 月 11 日（月）　13:30～15:30　あいホール　3Ｆ会議室

◆ **２学期支援**　９月１日（金）～12 月８日（金）

TOMO2 ホームページ
http://www.tomo2kodomo.com/
Facebook　随時更新中
広報担当：菅原・谷本